



高用堅志具

〈世界ジュニア・フライ級チャンピオン〉

気が強くて、ガムシヤラで、メチャクチャで…そういうジョーって、おれの若い頃にそっくりなんだね。ジョーの中におれを見た。(「アニメージュ」増刊より)



池上季実子

〈女優〉

幼ない心を熱くしたジョーとは一体何だったのでしょうか。不思議な暖かさがあるジョー。一刻も早くスクリーンでジョーに再会したいですね。



くり万太郎

〈ディスク・ジョッキー〉

あの「あしたのジョー」が大型スクリーンに登場するという。僕なんか漫画の単行本を必死にそろえたんだから、最高に嬉しい。もう一度ジョーの勇姿に歓喜したいです。



北杜夫

〈作家〉

初々しくて…波乱万丈だけど、単なるヒーロー物語じゃない。笑いあり、涙ありの人生航路なんですね。うちには原作が全巻そろっていて、何度も読み返しています。

〈敬称略〉

あしたのジョー 3/8(土)より大ロードショー

「あしたのジョー」豪華大型ポスター・カレンダー付特別鑑賞券¥1000劇場窓口にて発売中。お早く!

歌舞伎町ミラノ座横	伊勢丹斜め前	渋谷 東急文化会館B1	東口 バルコ先左側	有楽町フードセンター前 丸の内東映地下
新宿 東急 (200) 1981	新宿 東映 パラス (351) 3061	東急レックス (407) 7019	池袋 東急 (971) 2727	丸の内 東映 パラス (535) 4740

ジョーが帰ってくる

あの“あしたのジョー”が長篇アニメになって、スクリーンに帰ってくる。

1968年1月から1973年6月まで「少年マガジン」に連載された、このマンガの主人公・矢吹丈は、日本中の子供から大人までを熱中させた。

元ボクサー・丹下段平との出会い、ジョーの“心の応援団”ドヤ街の住人とのあたたかいふれあい、“財閥令嬢”白木葉子とのプラトニックな愛、そして“宿命のライバル”カ石との凄絶な男の闘い……

ジョーは常に“あした”をめざして走り続けた。ジョーのファン達は、ジョーの生き方を通じ、自分達の人生を見つめていった。

ジョーの危険と困難に満ちた道のりこそ、無数のジョー・ファンの道のりであり、ファンはジョーとともに試合に出場したのだった。

そして、この矢吹丈の演じた激烈なドラマは、多くのファンの熱烈な要望に支えられ、今ここに堂々2時間30分の劇場用映画となって帰ってくるようになった。

男の死闘！矢吹丈VSカ石徹！

ジョーが泣き、ジョーが笑い、ジョーが怒り、ジョーが闘い続けるこの映画は、ラスト、カ石の死という劇的なシーンで幕を閉じるが、それは“あしたのジョー”という長いストーリーの中で最も密度が濃く、最もファンを感

動させる場所でもある。

原作は高森朝雄（梶原一騎）とちばてつや。この2人にとってライフワークと言えるべき作品を見事なかたちで2時間30分の作品に仕上げた監督は福田陽一郎。



あしたのジョー

〈カラー長篇アニメーション〉
AOHステレオ音響
総指揮/梶原一騎
監督/ちばてつや
監修/脚本/福田陽一郎
製作/川野泰彦
原作/高森朝雄・ちばてつや(講談社刊)
製作/三協映画・富士映画
製作協力/東京ムービー新社
ヘルルド映画・富士映画共同配給



主題歌「あしたのジョー美しき娘たち」
挿入歌「たかたかし(歌:おはなけし)」「
挿入歌「K.O.(ノックアウト)」
作曲:鈴木邦彦/作詞:村上龍(歌:シミズヤスオ)
作曲:ジョー・山中/作詞:村上龍(歌:シミズヤスオ)
12月下旬発売予定

豪華な声の出演者！

声の出演は、矢吹丈にTVアニメ放映当時から彼の声を演じていたあおい輝彦。ジョーをボクサーとして育てあげた男、丹下段平には、これも又テレビと同じ藤岡重慶、以前にもまして段平の声に熱を入れた彼は、画面の中でシブいオヤジを好演している。ジョーの宿敵・カ石徹には、アフレコは初めてという二枚目俳優の細川俊之。彼は自分の能力の新しい領域を追求すべ



く、この作品に賭ける意気込みは大きい。

ほかに白木葉子に檀ふみ、少年院での出会いを通じてジョーの良きパートナーとなった関西弁の大男、マンモス西は、岸部シローが演じている。

青春時代の思い出として決して忘れることの出来ない一篇のマンガ……それが“あしたのジョー”である。

あしたのために秒を使いこなせ。僕らの腕は、ALBA。

for guys

●ストップウォッチ
(1/10秒計測・12時間計)
●アラーム
XC022B
¥8,800



for gals

XF100A
¥7,000



ALBA
アルバ クォーツデジタル

発売元・株式会社時計店アルバ営業部 〒104 東京都中央区京橋2-6-21